

# 説明会報告書

令和3年1月4日

会議の名称	市民会館・市民体育館再整備に関する説明会（町内会）
開催日時	令和2年12月18日（金）午後2時05分～午後3時40分
開催場所	市民会館（管理棟）2階 203～205会議室
出席町内会長	28町内会（37町内会中）
出席市職員	村山市民生活部長、松永市長公室長、外立秘書政策課長、浅見公共施設マネジメント推進室長、松田公共施設マネジメント推進室副室長、深町公共施設マネジメント推進室、松井市民活動推進課長、野口市民活動推進課主幹、山本生涯学習課長、中原生涯学習課副課長  <p style="text-align: right;">（計10人）</p>
説明員職氏名	松田公共施設マネジメント推進室副室長  <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
議 題	市民会館及び市民体育館再整備基本計画策定に係る整備手法比較・評価について
事務局職員職氏名	飯田市民活動推進課主幹、平間公共施設マネジメント推進室主任
その他必要事項	

## 会議内容の記録（会議経過、結論等）

### 1 開会

平間公共施設マネジメント推進室主任が開会を告げる。

### 2 あいさつ

村山市民生活部長よりあいさつを行った。

### 3 出席者の紹介

平間公共施設マネジメント推進室主任より、出席者の紹介を行った。

### 4 説明事項

松田公共施設マネジメント推進室副室長より、市民会館及び市民体育館再整備基本計画策定に係る整備手法比較・評価について説明を行った。

## ○概要説明

### （1）志木市の公共施設マネジメントの現状について

- ・市民会館及び市民体育館を含む志木市の公共施設については、平成27年に策定された「志木市公共施設等マネジメント戦略」（以下「マネジメント戦略」という。）に基づき、計画的な維持・更新等を行うとともに、財政的な負担の軽減・平準化等を図っていくことが必要である。
- ・マネジメント戦略では、公共施設及びインフラの今後の更新に必要な費用が年間約9億円程度不足すると試算しており、コンパクトな市域であること生かした施設の集約化や複合化、民間事業者との連携などにより、サービスの低下をさせないよう配慮しつつ、公共施設の総量を削減する方針である。

### （2）市民会館及び市民体育館再整備基本計画策定に係る整備手法比較・評価について

- ・市民会館及び市民体育館の整備手法としては、「①耐震化」、「②現地建替え」、「③いずれかの用地で複合化」の3種類を比較・評価した。また、評価項目としては、「①施設の機能性」、「②コスト」、「③立地・土地利用規制等」、「④政策との整合」の4つを設定した。
- ・評価を行った結果、「市民会館用地での複合化」が最も評価が高く、市の政策との整合性や、防災拠点としての機能確保、まちなかのにぎわいづくりへの寄与など、複合化の意義も踏まえ、判断したところである。

## 5 質疑応答

町内会：当町内会としては、現市民会館の場所に市民会館と市民体育館の複合化にはおおむね賛同しているが、館・幸町地区から公共施設が減ることから、サービスの公平性を考慮していただきたい。例えば、新たなコミュニティ施設等は設置できないのか。

職員：さまざまな方策を検討していく。

町内会：市民体育館の跡地は、継続して調整池となるのか？

職員：調整池の機能は維持する。

町内会：ニュータウンから複合施設までの交通手段の確保はできないか？

職員：市全体の交通施策を検討する中で、様々な手法を検討していく。

町内会：志木二中では、市民体育館を部活動の場としている。市民体育館が無くなるとどうなるのか？

職員：市民体育館は、市民会館と異なり直ぐに取り壊すわけではない。間があかないよう、複合施設の供用開始後に解体をする予定である。

町内会：市民検討委員会では、住民（館・幸町地区）の声が十分に届くのか？

職員：検討委員会の構成は、志木地区住民8人、宗岡地区住民8人、有識者2人の計18人の構成である。また、志木地区8人のうち、館地区が3人、幸町地区が1人となっている。

町内会：館保育園は、当初廃園することで計画が進められていたが、住民の意思を市にくんでもらい、保育園が0園になるところを2園にしてもらった。また、施設を市の中央に配置すれば誰もが利用できるということではなく、従来は、市内に施設を分散して配置することにより市民サービスの公平性を実現してる。また、市民体育館の利用サークルがアンケートを徴している。これらのことから、比較の評価項目に「住民の意思」という項目も加えてほしい。

職員：先ほどの説明のとおり、機能性、財政面、土地の制限など、さまざまな事を踏まえ検討をした結果、現市民会館の場所に、市民会館と体育館の複合施設を建設することが最も適切であり、その他の方法は困難であるとの結論に至っている。今後は、市民検討委員会の場において、複合化施設を前提とした議論を進めていきたいと考えている。

町内会：複合化の組み合わせが体育館と市民会館なのはなぜなのか？今後、学校施設を建て替えるのであれば、体育館と学校施設でもよいのではないのか？

職員：学校施設は全て耐震化工事が完了していることから、建替え対象の施設となっていない。また、児童・生徒は増加傾向にあり、空き教室がないことから学校施設を複合化の選択肢とはしていない。

町内会：現市民会館の場所に市民会館と体育館の複合施設を建設する事が方針として固まっているのであれば、意見の述べようがない。

町内会：市議会で特別委員会が設置されたと聞か、何を目的としているのか？

職員：市民会館・市民体育館の再整備等について、休会中も含めて議論をする場であると伺っている。

町内会：1月に市民説明会があり、コロナ禍における人数制限は理解するが、より多くの意見を聞いて欲しい。

町内会：事業スケジュール案で、令和5年度に現市民会館除去、令和6～7年度に工事、令和8年度に供用開始とあるが、体育館の跡地はどうなるのか？

職員：貯水池機能を維持していくが、現段階では、それ以外の検討はしていない。

町内会：ニュータウンからのアクセスを検討してほしい。

職員：市全体の交通施策を検討する中で、様々な手法を検討していく。

町内会：ニュータウン内から体育館がなくなるので、小さなジムを作って欲しい。

職員：さまざまな方策を検討していく。

町内会：現市民体育館はいつまで使用できるのか。

職員：複合施設供用開始までは、小修繕を施すなど施設が利用できるよう維持し、供用開始後に解体をする予定である。

## 6 閉会

平間公共施設マネジメント推進室主任が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。